

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公表番号】特表2013-514454(P2013-514454A)

【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-544822(P2012-544822)

【国際特許分類】

C 0 8 L 81/06 (2006.01)

C 0 8 J 5/04 (2006.01)

B 2 9 C 45/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/41 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 81/06

C 0 8 J 5/04 C F C

B 2 9 C 45/14

C 0 8 K 5/41

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3, 3'-ジアミノジフェニルスルホン、4-, 4'-ジアミノジフェニルスルホンまたはそれらの組み合わせ物から選択されるエポキシ硬化剤、および

ポリアリールスルホンポリマー

の混合物を含んでなる熱可塑性ポリマー強化材料であって、

該熱可塑性ポリマー強化材料がエポキシ樹脂を含まず、そして繊維の形態を取る上記熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項 2】

混合物がさらにジシアノジアミド(DICY)を含んでなる請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項 3】

ポリアリールスルホンポリマーがさらに式： $-A'-Y$

式中、A' は二価の炭化水素基であり、そしてYはOH、NH<sub>2</sub>、NHR' または-SHからなる群から選択され、ここでR' は最高 8 個の炭素原子を含有する炭化水素基である、

のペンダント基または鎖末端基を含んでなる請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項 4】

ポリアリールスルホンポリマーがXPhSO<sub>2</sub>PhXPhSO<sub>2</sub>Ph(PES)、または、X(Ph)<sub>a</sub>XPhSO<sub>2</sub>Ph(PEES)、または、両方、ここでXはOまたはSであり、そしてaは1-4である、を含む請求項 1 に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項 5】

ポリアリールスルホンポリマー中のPES対PEESの比が、約10:90から80:

20である請求項5に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項6】

PES対PEESの比が、約25：75から50：50である請求項5に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項7】

PES対PEESの比が、約20：80から70：30である請求項5に記載の熱可塑性ポリマー強化材料。

【請求項8】

エポキシ硬化剤を含まないエポキシ樹脂を、請求項1に記載の強化材料および織物を含む成形型に射出することを含んでなる複合材部品の作成法。

【請求項9】

エポキシ硬化剤を含まないエポキシ樹脂を、繊維および請求項1に記載の強化材料を含む成形型に射出することを含んでなる複合材部品の作成法。